

充実したサマースクール

2年生 小畑 葵

今回のサマースクールでは、台湾の文化や医療制度をはじめ、実際の医療現場の見学等貴重な体験が出来ました。台湾の学生さんたちには、日本語が上手な人もいるし、また英語が堪能な人もいて本当に驚きました。初めの2～3日は主に学校で中国語や台湾文化の勉強でした。その中にリボンでバッタを作る講義がありましたがこの講義が一番難しかったです。



何度も何度も先生や周りの人に聞いてやっと完成しました…ほかにも中国語の勉強では、学校の中国語の講義を取っておくべきだったなと何度も後悔しましたが楽しんで学習することが出来ました。授業で習ったフレーズは台湾の学生さんと会う度に使い、また別のあいさつなども教えてもらいました。台湾の学生さんにも、日本語でのあいさつなどを教え、異文化交流の出来る機会が授業以外にもたくさんありました。

台湾と日本の文化交流で私たちは、京都の紹介をしました。事前に全員で行った寺院や台湾料理店をスライドショーにまとめ、藤枝先生や学長、多くの先生方に協力していただいた力作でした。発表では、元培科技大学の先生が内容を通訳してくださり、本当に作成から発表までたくさんの人に協力してもらいました。私たち学生だけではとても出来なかったと今でも思います。また元培科技大学の学生さんは台湾のお祝い事や原住民の文化、国際医療福祉大学の学生さんは福岡県の紹介と大田原キャンパスの紹介でした。

病院訪問では、台湾の医療現場を生で見学することが出来ました。私たちは放射線科と作業療法や理学療法等を行うリハビリセンターを主に見学しました。どの病院も診断用の機械は新しいものが多くて驚きました。癌治療用のものからMRIやマンモグラフィまで。質のよい医療を提供したいという思いを感じました。また、なかなか知ることのない言語聴覚士さんや作業療法士さんの現場を見学でき、大変興味深いものとなりました。自分たちの現場だけではなく、ほかの現場の雰囲気も知る必要があると改めて思いました。

また、新竹の繁華街や、九份、淡水老街など有名な観光地にも連れて行ってもらいました。夜市に行けなかったことだけが心残りでしたが、どの場所も見るとは新鮮でした。淡水老街で



は大きなソフトクリームや臭豆腐を食べたり、また新竹の繁華街ではタピオカミルクティーやマンゴーかき氷を食べたりと台湾の食文化を満喫しました。ほかにもお土産屋ではしゃいで大変充実した時間を過ごすことが出来ました。

宿泊先のホテルでは、ほぼ毎日台湾の学生さんの部屋でパーティが催され、麻雀やジェンガなど楽しみました。一緒に参加した国際医療福祉大学の学生さんとも親睦を深めることが出来ました。また、誕生日の近い学生さんのサプライズパーティーもあり、思い出に残るひとときとなりました。ホテルはとても快適で部屋も広く、2人で使うのにほったいななと思いつつ過ごしていました。

最終日前日は、パーティだったため朝からずっと準備で、私たちは本番に向けてダンスの練習に明け暮れていました。パーティが始まると、国際医療福祉大学の皆さんが日本食を用意してくれ、ビンゴ大会やベリーダンス、けん玉など盛りだくさんの内容でした。私たちは日本のアイドルのダンスを踊りました。周りの皆さんが盛り上げてくれたため緊張せずに踊れました。最後に研修証明書をもったときはサマースクール終わってほしくないなと名残惜しい気持ちでいっぱいでした。



サマースクールではこのレポートに書ききれないほどたくさん貴重な経験をし、改めて日本の良さや海外にも視野を広げることの大切さを痛感しました。また学長をはじめ、多くの先生方のサポートと元培科技大學と国際医療福祉大学の皆さんの気遣い無しでは成功しなかったと思います。本当に感謝しています。ありがとうございました。